

地方創生交付金事業 効果検証結果一覧

交付金の種類	事業名	重要業績評価指標 (KPI)				効果検証結果			
		指標	目標値	実績値	達成度	事業効果	判断理由	今後の方針	判断理由
地方創生推進交付金	諏訪圏6市町村によるSUWAブランド創造事業	新技術・新製品等開発件数	30 件	22 件	73.3%	②地方創生に相当程度効果があった	・諏訪地域のものづくり技術を活かした新事業進出支援では、小型ロケット制作や基幹病院との交流などにより、今後につながる成果が見えてきている。特に小型ロケット制作を通じて、異業種の若手技術者が目標に向かい切磋琢磨しており、ロケットのデザインも中学生から募集し採用するなど「ひと」の育成に一役買っているといえる。 ・工業と商業等が一体となった「SUWAブランド」の確立では、日産自動車で開催された新技術新工法展示商談会が主であった外部展示会での、KPIの商談成約件数は目標値を下回ったものの、質の高い「しごと」を諏訪地域に呼び込むことができています。	③事業の継続	・今後の成長産業とされている航空宇宙産業と医療ヘルスケア産業への新参入は高度な技術が必要とされる。そのためには高度な技術に対応できる人材育成は必要不可欠であり、人材育成は短期間でできるものではない。事業を継続して育成を図る必要がある。
		人材育成関連事業への参加人数	847 人	602 人	71.1%				
		展示会・商談会における商談成約件数	35 件	27 件	77.1%				
		製造品出荷額等	6,050 億円	5,566 億円	92.0%				
	SUWAクリエイティブシティ化戦略事業	SUWAプレミアム売上額	12,000 千円	16,360 千円	136.3%	②地方創生に相当程度効果があった	・ブランドの売上額は、昨年のふるさと寄付の商品認定の一部解除による影響をもとめず、過去最高を示し、順調である。 ・世代交代した若手経営者は、新規事業、新製品開発に意欲的であり、本事業は開発の受け皿となっている。 ・従来は生産者、企業家への浸透を検討していたが、現在はサービス業、観光協会等からも引き合いがあり、事業の認知が進んでいる。	③事業の継続	・参加事業者については、精密加工製造業からIoT、サービス業等にも徐々に広がりを見せている。新しい産業へのチャレンジという面において、産業連携事業補助金と当室の活動は展開ツールとして大いに機能している。
		SUWAクリエイティブシティ化戦略参画事業者数	130 者	246 者	189.2%				
		新商品・新サービス創出件数	18 件	21 件	116.7%				
	「諏訪の国」ブランド展開と観光推進組織基盤創生事業	諏訪6市町村観光地利用者延数	13,582,800 人	12,922,500 人	95.1%	③地方創生に効果があった	・第29回諏訪湖マラソンやハケ岳JOMONライフフェスティバルといった、地域で開催されるイベントを通じた諏訪の国ブランドの浸透に取り組んだ。また、諏訪地域内に散在する様々なコンテンツをテーマ毎にまとめ、テーマで巡るコースを発信し、滞在時間の延長を図った。 ・都市部においては、「地酒」「カメラ」「自転車」といった特定の趣味を切り口にしたイベントを開催し、諏訪エリアに接点の無い層に対し認知を促し来訪機会の拡大を図った。	①追加等更に発展させる	・諏訪の国ブランドを域内に浸透させ、域外に認知させるために、都市部でのPRイベントや海外マーケットとの接点拡大を継続するとともに、地元関係団体等と協働した他産業へのブランド展開や、SNSを活用した域外への情報拡散力の向上を図る必要がある。併せて、WEBやSNSのアクセス解析等のデータに基づいたマーケティングを可能にするWEB環境整備が必要である。
		諏訪6市町村観光地利用者宿泊客数	2,979,200 人	2,942,200 人	98.8%				
		観光地域ブランド「諏訪の国」ロゴ使用申請数	16 件	16 件	100.0%				
		諏訪6市町村観光消費額	37,357,307 千円	36,290,369 千円	97.1%				
	地方創生推進交付金 地方創生拠点整備交付金	歴史・文化の学びを支える博物館整備事業	諏訪市博物館入館者数	14,000 人	9,491 人	67.8%	③地方創生に効果があった	・館内に、諏訪ゆかりの考古学・歴史学研究者の貴重な文献資料を閲覧できる「すわ大昔情報センター」を開設したことにより、平成30年5月26日オープン後は諏訪市内外からセンター来場者が見込まれ、博物館の来館者増が期待できる。 ・専門スタッフによる自主的な学びの支援や図書資料等検索システムの導入により、研究者及び歴史愛好家から広く一般市民に至るまで、多くの利用者層を取り込むことで地方創生の新たな拠点としての役割が期待できる。	③事業の継続
「すわ大昔情報センター」利用者数	供用開始前 人	- 人	-						
「図書資料等管理検索システム」利用件数	供用開始前 件	- 件	-						
地方創生拠点整備交付金	スポーツ・健康・観光複合拠点「すわこらんど」整備事業	すわこらんど入館者数	307,263 人	282,304 人	91.9%	③地方創生に効果があった	・屋内プール天井改修を実施したことにより、施設の安全性・長寿命化が図られ、将来にわたりすわこらんどを安心して利用してもらうことができるよう機能強化が図られた。工事期間中4ヶ月の部分休館による影響で入館者数30万人を割り込んでしまったが、膜天井のやわらかな曲面がプールにマッチした景観を演出し、入館者からも好評であり、今後における利用者の増加を見込める。 ・健康づくりプロジェクト事業は74名の参加があり、健康運動指導士の効果的な運動法のアドバイスにより、日常生活の見直しや運動に対する前向きな姿勢になることができたなど参加者からの満足度は非常に高い。	③事業の継続	・屋内プール天井改修工事により施設の安全性を確保することができた。今後は利用者増加への取り組み及び、利用者回帰へ向けた取り組みを強化していく必要がある。 ・すわこらんどを活用した健康増進事業を継続するため、トレーニングルームの充実が必要不可欠であり、引き続き利用者増加による料金収入の増加を検討する。
トレーニングルーム関係収益	3,625 千円	2,749 千円	75.8%						
健康づくりプロジェクト参加者数	80 人	74 人	92.5%						